



## 2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 齊藤 政基 (TEL) 03-3472-7890  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	4,906	26.4	241	4.6	85	△65.4	46	△70.0
2022年9月期第1四半期	3,882	4.8	231	39.6	246	44.1	153	66.5

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 △344百万円(—%) 2022年9月期第1四半期 125百万円(165.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	3.48	—
2022年9月期第1四半期	11.61	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	15,295	5,569	35.9
2022年9月期	14,757	5,980	39.9

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 5,484百万円 2022年9月期 5,891百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	6.5	400	△37.0	380	△38.3	210	△59.0	15.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	13,410,000株	2022年9月期	13,410,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	200,227株	2022年9月期	200,227株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	13,209,773株	2022年9月期1Q	13,209,823株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第8波が到来し、感染者数は増加傾向となりましたが、医療提供体制の強化やワクチン接種の進展等から感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る政策へと転換となり、コロナ禍であるものの行動制限がない経済活動が推進されました。しかしながら、新たな懸念材料として、長期化するウクライナ・ロシア情勢や急激な円安、原材料価格や光熱費の高騰による物価上昇等、消費活動にマイナスの要素が重なり、企業経営に大きな影響を与える環境となりました。

当連結会計年度は、ここ数年推進してきました一連の施策(「粧美堂(SHOBIDO)」の真のメーカー化、ニッチカテゴリーにおけるシェアNo.1商品の開発、シェア獲得施策)を継続して推進してまいります。また、SNSなどの普及によりメーカーと個人(消費者)が直接コミュニケーションを取ることが一般化してきていることを踏まえて、従来から進めております自社メディアの育成の動きをより強化してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、当社商品のメインユーザーである若年層の女性の外出機会が正常化に向かったことや戦略的に進めてきた重点販売先に対する全社一丸となった営業強化が引き続き奏功し、対前年同期比26.4%増の4,906,717千円と増収となり売上総利益額は1,323,335千円で対前年同期比9.9%増となりました。一方で同利益率は、表面的な利益率は低いものの受注生産のため返品がなく安定的に利益が残せるOEM商品の売上が大幅に伸びたことと、円安による売上原価が上昇したことを主因に27.0%と対前年同期比4.0ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、商流が大幅に伸びたことに伴い販売促進費、物流費などが増加した結果、対前年同期比11.2%増の1,081,661千円となったものの、営業利益は対前年同期比4.6%増の241,673千円となりました。経常利益は為替デリバティブ取引の時価評価に伴う評価損に当たる部分を営業外費用に計上したことなどを受けて対前年同期比65.4%減の85,248千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は46,022千円(対前年同期比70.0%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間は大幅に円安が進行し売上原価が高騰する中で、ここ数年継続して行ってきた選択と集中(取扱い商品数と販売先)、仕入れ商品から自社企画商品への切替、固定費圧縮、組織の大幅刷新による意思決定の迅速化、人事報酬制度の見直しを中心とした経営基盤の強化と化粧品・化粧雑貨等自社企画商品の開発施策を着実に実施し営業利益段階においては増益を確保することができました。

上述した為替デリバティブ取引については、一部金融機関との間で輸入取引の決済に充当する外貨を実需の範囲内で受け取る契約を締結したものであり、当連結会計年度末である2023年9月末までに当該契約は消滅いたしますので、当連結会計年度の為替デリバティブ取引の時価評価に伴う評価損は発生いたしません。また調達した外貨については順次輸入決済に使用しておりますので現時点において当該取引が当連結会計年度における業績予想に重大な影響を及ぼすものではないと判断しております。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントではありますが、取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

#### ①化粧品・化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、当社商品のメインユーザーである若年層の外出機会が増加したことや重点販売先への営業強化の成果が実り、化粧品・化粧雑貨全般が前期に引き続き好調に推移しました。注力カテゴリーであるネイルケア・ネイルアート・前髪関連商材を中心としたヘアケア、ヘアアクセサリ、マーケティング戦略が奏功した二重まぶた用化粧品、キッズコスメなどが順調に推移し3,403,874千円(対前年同期比21.3%増)と大幅増収となりました。

#### ②コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、海外市場とりわけ中国市場でのロックダウンの影響があったものの、国内市場では大幅な増収を確保し629,493千円(対前年同期比6.0%増)となりました。

③服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、キャラクターをあしらった小物類の売上などが好調に推移し674,869千円（対前年同期比96.8%増）となりました。

④その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、入園入学用品の新規導入などから、198,480千円（対前年同期比41.2%増）と増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて537,860千円増加し、15,295,811千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて554,433千円増加し、12,038,094千円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が128,358千円、商品及び製品が749,228千円、その他が678,255千円増加したことに対し、現金及び預金が414,883千円、為替予約が613,694千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16,573千円減少し、3,257,717千円となりました。

これは主に、投資有価証券が13,343千円増加したことに対し、有形固定資産のその他が28,662千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて948,691千円増加し、9,726,503千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて846,915千円増加し、5,877,650千円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が162,114千円、短期借入金が800,000千円、為替予約が164,733千円増加したことに対し、未払法人税等が185,625千円、賞与引当金が85,107千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて101,775千円増加し、3,848,852千円となりました。

これは主に、長期借入金が236,500千円増加したことに対し、その他が137,938千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて410,830千円減少し、5,569,307千円となりました。

これは主に、繰延ヘッジ損益が414,715千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月11日に公表いたしました2023年9月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,541,749	5,126,865
受取手形及び売掛金	3,535,885	3,664,243
商品及び製品	1,389,679	2,138,908
原材料及び貯蔵品	163,280	190,149
為替予約	660,040	46,346
その他	194,325	872,581
貸倒引当金	△1,300	△1,000
流動資産合計	11,483,660	12,038,094
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,307,893	1,307,893
その他(純額)	1,152,053	1,123,390
有形固定資産合計	2,459,946	2,431,284
無形固定資産		
のれん	230,472	223,269
その他	31,500	30,218
無形固定資産合計	261,972	253,488
投資その他の資産		
投資有価証券	188,867	202,210
その他	366,323	373,553
貸倒引当金	△2,819	△2,819
投資その他の資産合計	552,370	572,944
固定資産合計	3,274,290	3,257,717
資産合計	14,757,950	15,295,811
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043,687	2,205,801
短期借入金	100,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,812,000	1,871,500
未払法人税等	201,180	15,554
賞与引当金	133,857	48,750
為替予約	—	164,733
その他	740,010	671,310
流動負債合計	5,030,735	5,877,650
固定負債		
長期借入金	3,267,500	3,504,000
役員退職慰労引当金	115,650	118,725
資産除去債務	70,717	70,856
その他	293,208	155,270
固定負債合計	3,747,076	3,848,852
負債合計	8,777,811	9,726,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,549,231	4,529,204
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	5,277,972	5,257,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,535	53,585
繰延ヘッジ損益	436,744	22,028
為替換算調整勘定	131,899	151,390
その他の包括利益累計額合計	613,178	227,004
非支配株主持分	88,987	84,357
純資産合計	5,980,138	5,569,307
負債純資産合計	14,757,950	15,295,811

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)
売上高	3,882,390	4,906,717
売上原価	2,678,295	3,583,382
売上総利益	1,204,094	1,323,335
販売費及び一般管理費	973,021	1,081,661
営業利益	231,073	241,673
営業外収益		
受取利息	1,973	4,010
受取配当金	2,127	2,186
受取手数料	2,088	1,973
不動産賃貸収入	16,458	2,640
為替差益	12,318	—
その他	729	278
営業外収益合計	35,694	11,089
営業外費用		
支払利息	5,099	6,709
不動産賃貸費用	14,601	401
為替差損	—	159,960
その他	370	442
営業外費用合計	20,070	167,514
経常利益	246,698	85,248
税金等調整前四半期純利益	246,698	85,248
法人税、住民税及び事業税	26,089	8,865
法人税等調整額	72,624	34,863
法人税等合計	98,713	43,729
四半期純利益	147,984	41,519
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,435	△4,503
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,420	46,022



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)
四半期純利益	147,984	41,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,563	9,049
繰延ヘッジ損益	△8,747	△414,715
為替換算調整勘定	2,629	19,364
その他の包括利益合計	△22,681	△386,301
四半期包括利益	125,303	△344,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,811	△340,151
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,508	△4,630

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。